

公益社団法人 日本重症心身障害福祉協会

令和2年度 事業報告書

1. 公益社団法人としての事業推進

令和2年度は公益社団法人日本重症心身障害福祉協会として、重症心身障害児者の尊厳を尊重し、その福祉の向上に関する事業を行い、その家庭とその地域の福祉の増進に寄与すること並びに重症心身障害療育の理念及び成果の普及を目的として、公益事業を始めとした各事業の推進を掲げた。

在宅の重症心身障害児者及びその家族に対する支援のより充実を図るため「医療的ケア児への支援強化」や「重症心身障害児者のコーディネーターの育成に向けた支援」の取り組み及び職員の育成のための職員研修会、学会や研究会をさらに推進、強化を図ることとしていたが、令和2年1月に確認された新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響によりこれらの取組や事業の中止、一部研修会は開催方法をオンラインに変えて行われた。

2. 諸会議の開催

当協会の事業について、重要案件を審議し執行するため、次の会議を開催した。

(1) 定時総会

令和2年5月30日(土) 東京都豊島区

(2) 理事会

第1回 令和2年4月13日(月)～20日(月) 書面理事会

第2回 令和3年3月20日(土) オンライン開催

(3) 各種委員会の開催

①実態調査委員会

第1回 令和2年10月1日(木) オンライン開催

第2回 令和2年10月29日(木) オンライン開催

第3回 令和2年12月16日(水) オンライン開催

第4回 令和3年3月3日(水) オンライン開催

③人材育成・研修委員会

・職員研修部会

第1回 令和2年6月6日(土) オンライン開催

・専門看護師部会

第1回 令和2年6月12日(金) オンライン開催

第2回 令和2年10月22日(水) オンライン開催

3. 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会等の開催

(1) 日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会

日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会を厚生労働省、広島県、広島市の後援を得て令和2年5月20日（木）から21日（金）の2日間、広島県広島市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により中止とした。

本協議会は重症心身障害児者の療育に関する調査研究並びに施設の運営上の諸問題及び職員の研修等について協議を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的に開催している。

(2) 日本重症心身障害福祉協会東日本・西日本施設協議会

①第47回日本重症心身障害福祉協会東日本施設協議会

令和2年11月5日（木）、6日（金）の2日間、神奈川県横浜市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により中止とした。

②第41回日本重症心身障害福祉協会西日本施設協議会

令和2年11月18日（木）、19日（金）の2日間、宮崎県宮崎市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により中止とした。

本協議会は、重症心身障害児者施設の運営上の諸問題及び重症心身障害児者の療育に関する情報交換等を行い、重症心身障害児者の療育の向上を図ることを目的として開催しているものである。

4. 全国重症心身障害児者施設職員研修会の実施

重症心身障害児者施設に勤務する各種職員を対象に実施しているが、研修会開催初日は公開講演として在宅重症心身障害児者に関わる方をホームページにて公募し参加いただいている。

令和2年度は、職員の資質向上を目的として下記の研修会を予定したが、中止した研修会及び開催方法を検討しオンライン開催した研修会があった。

(1) 看護師コース

令和2年 9月 9日(水)～11日(金) 大阪府大阪市 中止

(2) 栄養士・調理師コース

令和2年10月13日(水)～15日(金) 大阪府大阪市 中止

(3) 看護管理研究会コース

令和2年10月27日(水)～29日(金) 愛知県春日井市 中止

(4) 医療技術管理コース

令和2年11月25日(水)～27日(金) 大阪府大阪市

→ 令和2年11月29日(日) オンライン開催 (参加者233名)

(5) 保育士・児童指導員等(療育職員)コース

令和2年12月9日(水)～10日(金) 大阪府大阪市

→ 令和2年12月10日(木) オンライン研修会(参加者217名)

(6) 施設管理研究会コース

令和3年1月20日(水)~22日(金) 大阪府大阪市

→ 令和3年1月21日(木) オンライン研修会(参加者164名)

5. 第31回重症心身障害療育学会学術集会の開催

重症児施設療育研究大会を平成17年度から重症心身障害療育学会に改めて開催している。

第31回重症心身障害療育学会学術集会を厚生労働省、島根県、松江市、読売光と愛の事業団の後援を得て、令和2年10月1日(木)、2日(金)の2日間、島根県松江市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の流行により中止とした。

6. 重症心身障害児者施設永年勤続者の表彰

重症心身障害児者施設に勤務する10年以上の永年勤続者を表彰している。

令和2年度の永年勤続者は536名でした。定時総会時に行う永年勤続者表彰式は新型コロナウイルス感染症の流行により執り行なわずに、表彰状を送付した。

7. 日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師制度の充実と認定重症心身障害看護師合格者の認定証の授与

平成24年度から重症心身障害看護の質の向上、認知度のアップ、看護師の確保と育成に繋げ、重症心身障害児者とその関係者に適切な看護を提供し、重症心身障害児者のより良い生活・生涯に寄与することを目的として、日本重症心身障害福祉協会認定 重症心身障害看護師制度を実施し認定重症心身障害看護師合格者に認定書を授与してきたところであり、今後とも制度の充実を図ることとした。

令和2年度の認定者数は45名でした。認定証授与式は新型コロナウイルス感染症の流行により執り行なわずに、認定証を送付した。

なお、平成28年度から5年を経過する者を対象に認定更新審査を実施している。

8. 全国重症心身障害児者施設実態調査の実施

本調査は、公法人立の施設の入所児(者)を対象とし、療育の向上に資するため、毎年実施している。個人チェックリスト・新版【第Ⅱ版】を含め令和2年4月1日現在等での施設等の実態を調査した。

9. 超重症児(者)・準超重症児(者)の実態調査の実施

令和2年度からは、実態調査が多岐に渡るため調査の簡素化を図ることとして、超重症児(者)・準超重症児(者)の実態調査は、個人チェックリストの調査データから調査報告書が作成できるよう調整しているところである。

10. 関連する検討会及び調査研究事業等への参画

- ①厚生労働省補助金事業（みずほ情報総研）「障害児入所施設の運営指針作成に関する調査・研究」に構成員として参画。
- ②厚生労働省障害保健福祉部長主催「障害児の新たな移行調査の枠組みに向けた実務者会議」の構成委員として参画。

11. 広報紙の発行

広報紙「重症児とともに」を発行し、関係者及び関係機関等へ配布した。
また、協会ホームページへの掲載を行った。